

平成31年2月市議会環境経済委員会資料

第59号議案 平成30年度長崎市一般会計補正予算（第9号）

目次

【予算説明書ページ】 【ページ】

7款1項2目 商工振興費

- | | | |
|------------------|-------|-----|
| 1 地域経済循環創造事業費補助金 | 20～21 | 1～4 |
| 2 プレミアム付商品券発行事業費 | 20～21 | 5～8 |

商 工 部

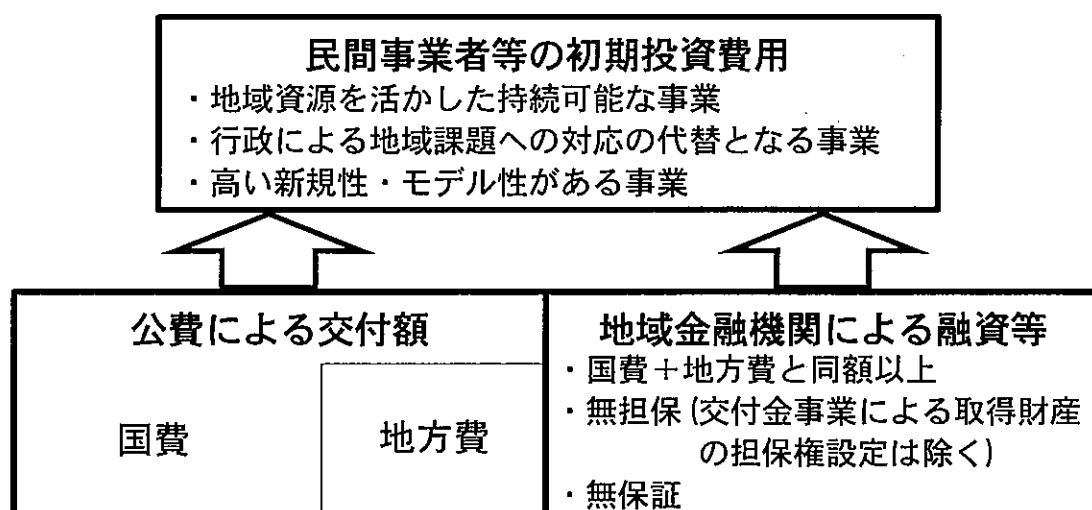
平成31年2月

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
20～ 21	7 商工費	1 商工費	2 商工振興費	1-1	地域経済循環創造 事業費補助金	千円 25,000

1 概 要

産学金官の連携により、地域の資源と資金を活用して、雇用吸収力の大きい地域密着型企業の支援をする国の地域経済循環創造事業交付金（ローカル10,000プロジェクト）を活用して補助を行うもの。

ローカル10,000プロジェクトについて



- ・ 公費による交付額の上限
原則 2,500万円
- ・ 国費による交付率
原則 公費による交付額の 1/2
新規性・モデル性の極めて高い事業は 10/10

平成30年度重点支援分野

新規性・モデル性の極めて高い事業については、国費10/10により支援

- 国等が開発・支援して実証段階にある新技術を活用した事業
- 2020年東京オリパラ競技大会・ラグビーワールドカップ2019関連施策
- 明治150年関連施策
- 古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくり

2 補助事業者

- (1) 名称 株式会社長崎スカイホテル
- (2) 代表者 代表取締役 塚島博司

3 補助金交付対象事業の内容

ローカル 10,000 プロジェクトの平成 30 年度の重点支援分野として位置付けられている明治 150 年関連施策の一環として、長崎の港と街並みを一望できる「ホテル長崎」(立山 2 丁目)において、各所に明治時代の要素を取り入れ、日帰り観光客や地域住民も利用できる新たな観光・交流の場への改修を行う。

- (1) 浴場の改装による明治時代をイメージした「ハイカラ湯屋」の整備
- (2) 幕末・明治の写真や年号パネルなどを設置し、長崎の文化や風習、歴史に触れながら交流できる場である「維新ギャラリー」の整備
- (3) ホテル屋上に、世界文化遺産に認定された「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である三菱長崎造船所ジャイアント・カンチレバークレーンや長崎の港、長崎の街並みを眺望できる展望デッキの整備

4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 25,000	千円 25,000	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —

※ 地域経済循環創造事業交付金 補助率 10/10

【参考】 交付対象事業費 50,494 千円

内訳	金額	
	施設整備費	47,180 千円
	機械設置費	— 千円
備品費	3,314 千円	

※市補助金を除く 25,494 千円は事業者負担となる。

5 繰越明許費 予算説明書 26～27 ページ

(1) 財源内訳

事業名	金額		財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
地域経済 循環創造 事業費 補助金	予算 現額	千円 25,000	千円 25,000	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —
	支出 予定額	—	—	—	—	—	—
	繰越 明許額	25,000	25,000	—	—	—	—

(2) 繰越の理由

補助事業者が行う施設整備事業が年度内に完了しない見込みであるため。

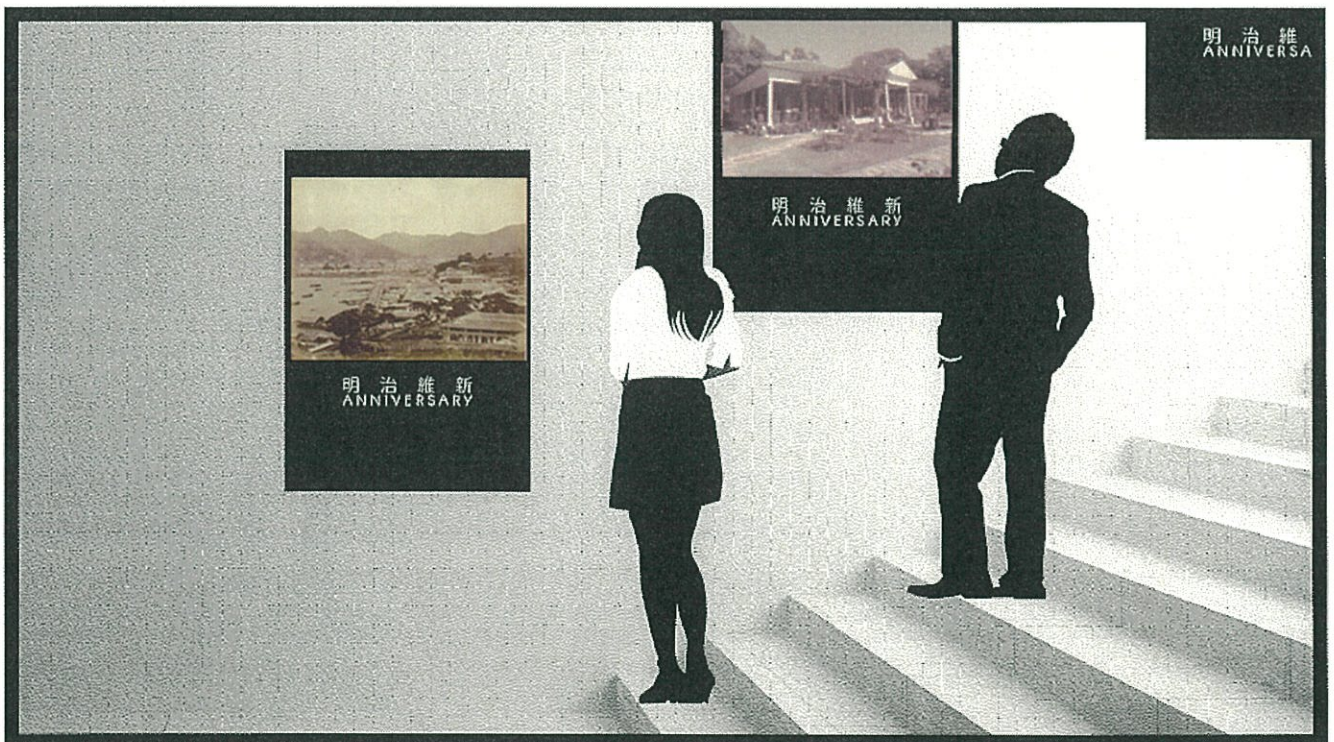
<参考> ホテル長崎 整備イメージ図

1 ハイカラ湯屋



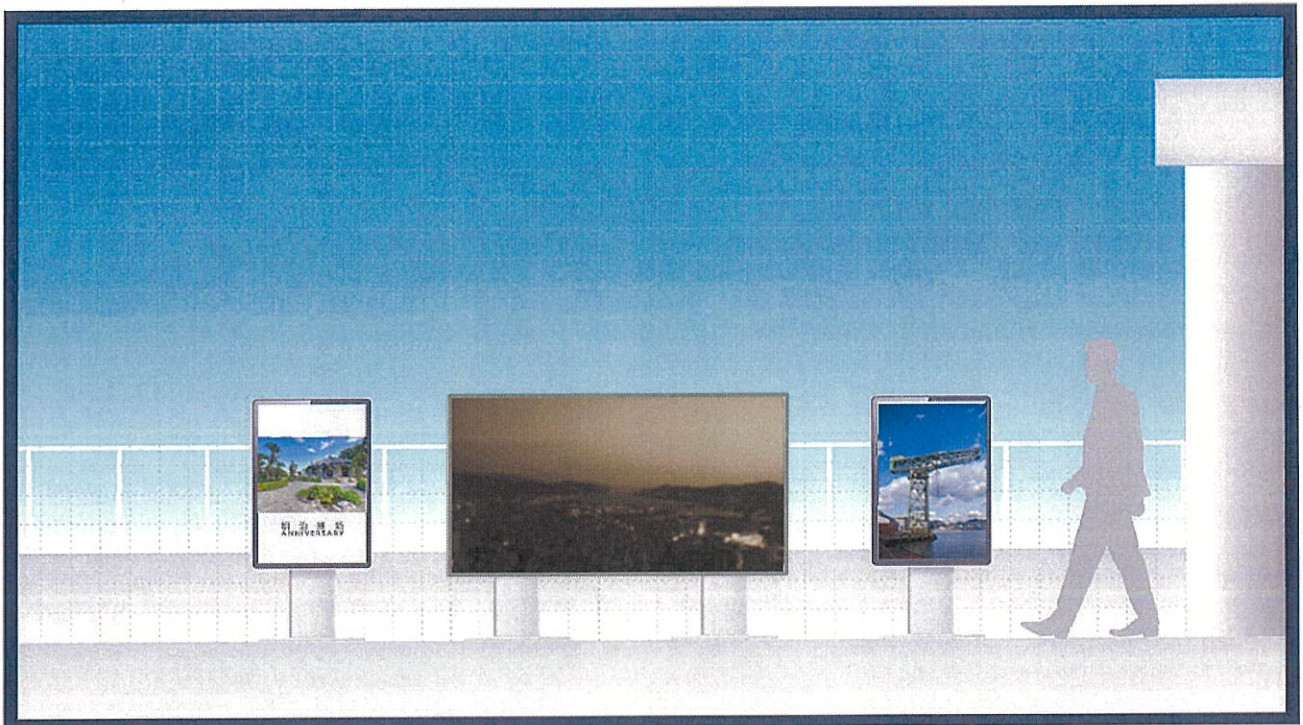
※現地点でのイメージです。今後変更となる場合があります。

2 維新ギャラリー



※現地点でのイメージです。今後変更となる場合があります。

3 展望デッキ



※現地点でのイメージです。今後変更となる場合があります。

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
20～ 21	7 商工費	1 商工費	2 商工振興費	2-1	プレミアム付商品券 発行事業費	千円 36,973

1 概 要

消費税・地方消費税の10%への引上げが低所得者・子育て世帯（3歳未満）の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、プレミアム付商品券の発行を行う事業の準備に係る経費を計上するもの。

2 事業内容

(1) 制度概要

ア 商品券の購入対象者

(ア) 平成31年1月1日時点の市民のうち、平成31年度の住民税非課税者
(住民税課税者の生計同一の配偶者・扶養親族及び生活保護受給者等を除く)

対象見込者数 87,000人

※ 参考：平成29年度 臨時福祉給付金申請受付者数 86,896人

(イ) 平成31年6月1日時点の市民のうち、3歳未満の子が属する世帯の世帯主

対象見込者数 9,300人

※ 参考：平成30年10月1日現在の3歳未満の子の数 9,251人

イ 商品券の購入限度額

(ア) 非課税者 券面額 25,000円 (販売額 20,000円)

(イ) 子育て世帯主 券面額 25,000円 (販売額 20,000円) × 3歳未満の子の数

ウ 販売期間 平成31年9月～平成32年2月(予定)

エ 使用可能期間 平成31年10月～平成32年3月(予定)

(2) 全体事業費

単位：千円

	H30年度 第9号補正額	H31年度 第1号補正額	合 計
事業費(商品券換金額相当分)	—	2,407,500	2,407,500
事務費(人件費、委託料等)	36,973	264,952	301,925
計	36,973	2,672,452	2,709,425

(3) 事業費内訳

単位：千円

区 分	金 額	内 訳
需用費	473	事務用品等
委託料	30,000	・システム構築等委託料 (商品券購入対象者の抽出・審査用) ・コールセンター運営委託料 (申請受付、その他問い合わせ用)
使用料及び賃借料	6,500	PC等機器借上料
計	36,973	

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 36,973	千円 36,973	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —

※ プレミアム付商品券事務費補助金 補助率 10/10

4 繰越明許費 予算説明書 26～27 ページ

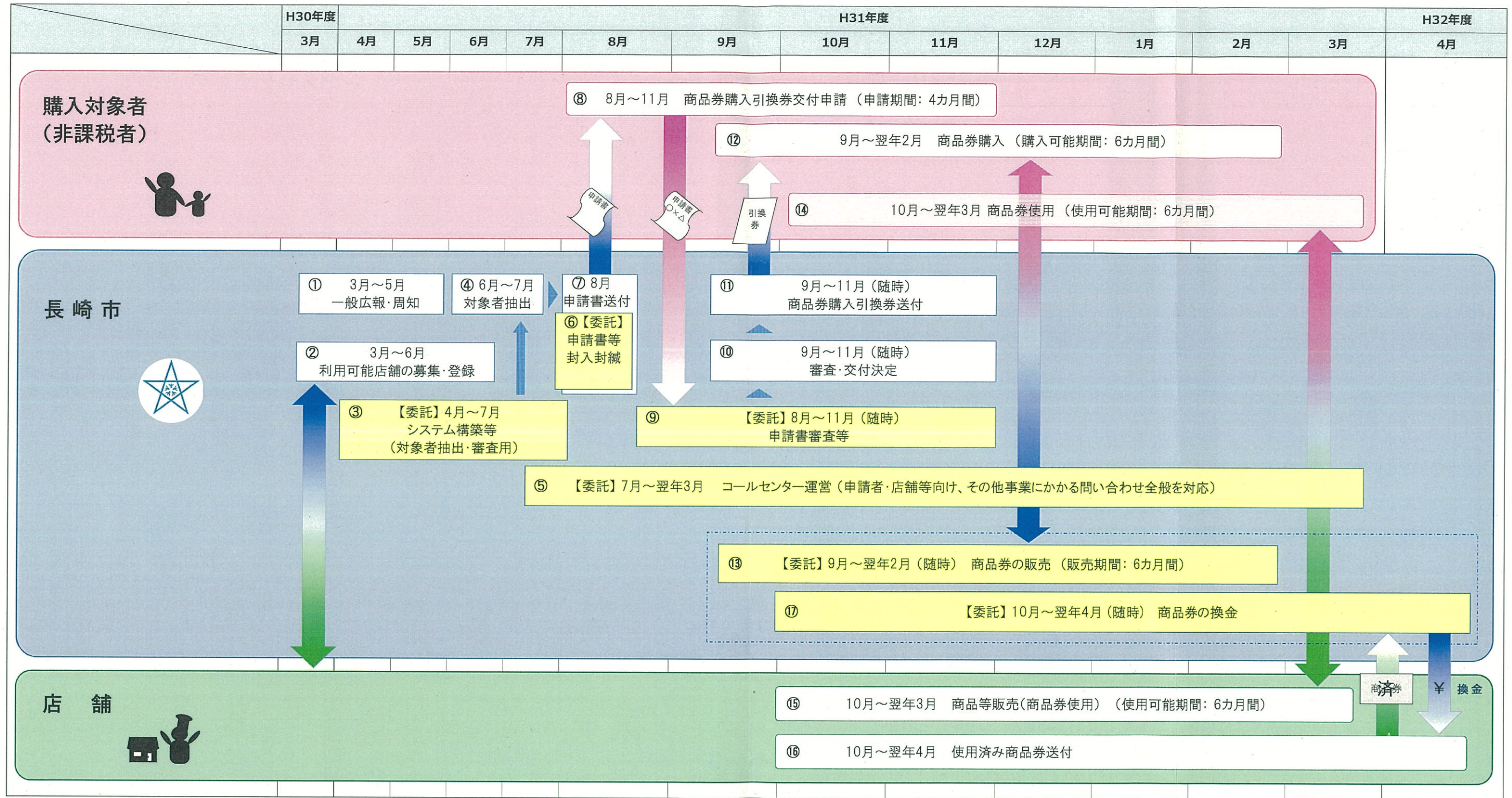
(1) 財源内訳

事業名	金 額		財 源 内 訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
プレミアム 付商品券発 行事業費	予算 現額	千円 36,973	千円 36,973	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —
	支出 予定額	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —
	繰越 明許額	千円 36,973	千円 36,973	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —

(2) 繰越の理由

国の2次補正に伴う経済対策により実施する本市の事業の準備作業が、年度内に完了しないため。

① プレミアム付商品券発行事業の流れ(予定)【非課税者】※申請手続き要



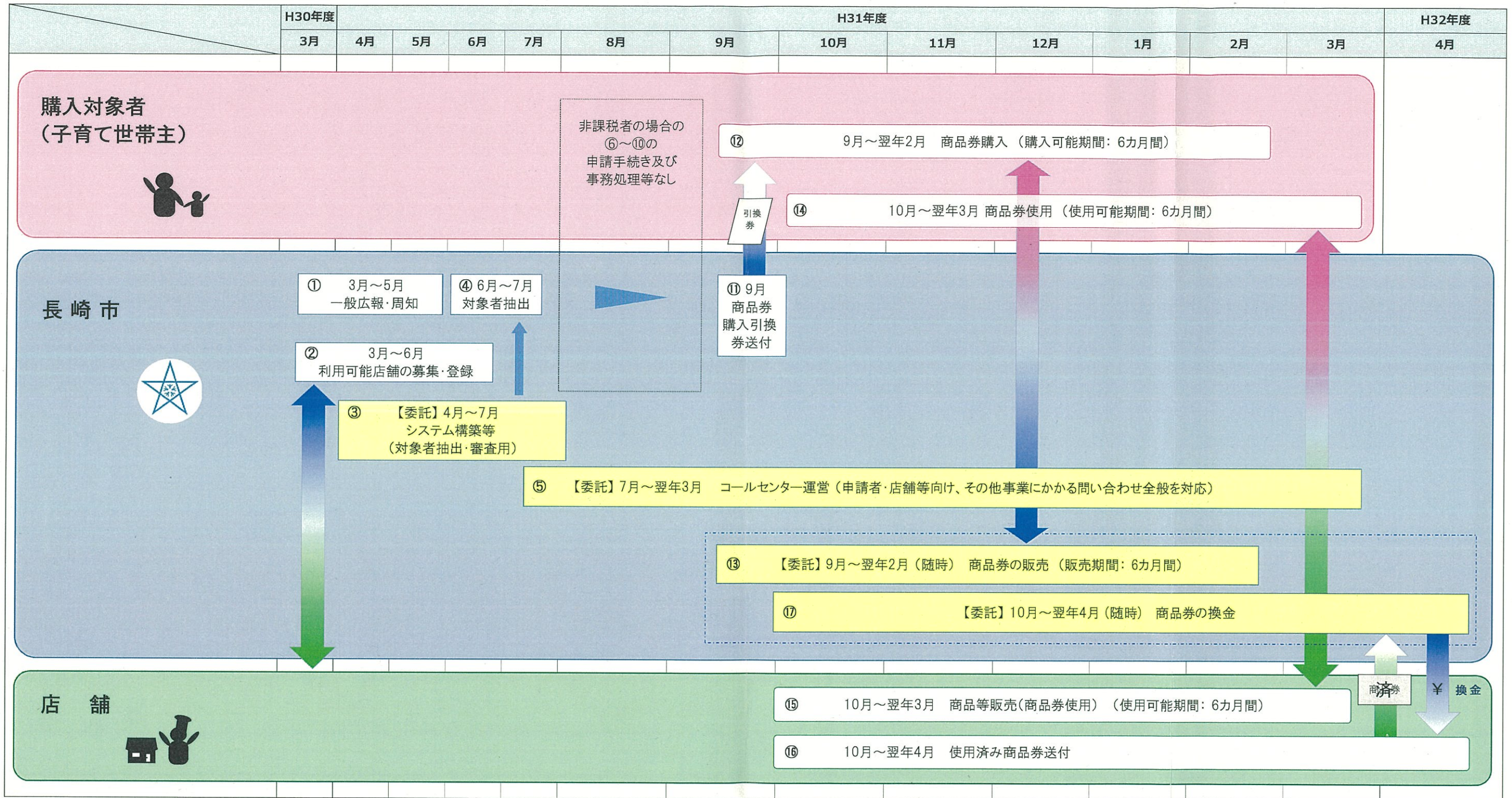
<参考> 主な業務委託の契約等スケジュール(予定)

業務委託 (③⑤⑥⑨⑬⑰)	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
1 ③ システム構築等 (H30補正)			構築・導入・運用											
2 ⑤ コールセンター運営 (H30補正)														
3 ⑥ 申請書等封入封緘 (H31補正)														
4 ⑨ 申請書審査等 (H31補正)														
5 ⑬⑰ 商品券の販売・換金等 (H31補正)														

※ ■ 契約準備・予備期間

■ 履行期間

② プレミアム付商品券発行事業の流れ(予定)【子育て世帯主】※申請手続き不要



<参考> 主な業務委託の契約等スケジュール(予定)

業務委託 (③ ⑤ ⑬ ⑰)	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
1 ③ システム構築等 (H30補正)														
2 ⑤ コールセンター運営 (H30補正)														
3 ⑬ ⑰ 商品券の販売・換金等 (H31補正)														

※ ■ 契約準備・予備期間

■ 履行期間